

量子コンピュータと

データサイエンス

量子コンピュータは、従来型コンピュータでは困難だった大規模データ処理や最適化問題の高速解決を可能にする、革新的な計算技術です。医療分野においてもその応用が期待されており、特に核磁気共鳴画像法（MRI）をはじめとする医療画像処理や診断支援への貢献が注目されています。本シンポジウムでは、量子アルゴリズムの原理から医用画像解析に至るまで、最先端の知見を共有し、今後の臨床応用に向けた課題と展望について議論します。量子コンピューティングに関心をお持ちの医療従事者・研究者・学生の皆様にとって、貴重な知的交流の場となることを願っております。

開催日

2025/ **9/18** (木)

時間

13:30 ~ 17:00

場所

順天堂大学浦安日の出キャンパス
2号館2階2206教室

お申込

グーグルフォームから
参加申し込みしてくだ
さい。→→→



プログラム

- 13:00 開会の挨拶
- 13:05 趣旨説明および講演1
「JHPC-QuantumプロジェクトとQC-HPCハイブリッドコンピューティングの展望」
順天堂大学健康データサイエンス研究科 特任教授 佐藤 三久
- 13:30 基調講演 「量子計算の医科学応用に向けて」
東京大学大学院 医科学数理研究室 教授 角田 達彦
- 14:05 講演2 「TBA」
クオンティニウム株式会社 山本憲太郎
- 14:35 講演3 「TBA」
東北大学大学院情報科学研究科 教授 大関 真之
- 15:05 休憩
- 15:25 講演4 「TBA」
熊本大学 大学院生命科学研究部 准教授 米田 哲也
- 15:55 講演5 「TBA」
GEヘルスケア・ジャパン株式会社 研究開発部 MI&AI データアナリスト 甲木晶枝
- 16:25 講演6 「ベンチマークで探る量子・HPC連携プラットフォームの事業可能性」
ソフトバンク株式会社テクノロジー・エグゼクティブ 中条忠寛
- 16:55 講演7 「TBA」
順天堂大学健康データサイエンス学部 講師 孫 哲
- 17:25 クロージング（終了後懇親会あり）



モデレータ
順天堂大学健康データサイエンス研究科
特任教授 佐藤 三久

主催

順天堂大学

健康データサイエンス学部

<https://www.juntendo.ac.jp/academics/faculty/hds/>



共催

MR4Aコンソーシアム

Medical Resilience for All Consortium

※COI-NEXT順天堂拠点の研究成果を社会実装するためのコンソーシアム

<https://research-center.juntendo.ac.jp/coi-next/>



強靱で豊かな社会を、医療から築いていく。

Medical Resilience

For All

多様な価値観の尊重と、モノ・コト・ヒトのつながりによる健康医療の発展